

メディカルほっと通信

せせらぎ

2014
冬号
vol.14

四万十川のせせらぎのようにやさしく、そしておおらかに...

患者様に寄り添い共に歩む、真心のこもった医療を目指します



私たち『四万十★DMAT』です!

もくじ Contents

市民病院「災害医療」の取り組み —災害医療チームDMAT—	2・3 P
ご意見ありがとうございます —院内ご意見箱より—	4 P
経営健全化を目指す市民病院	5 P
せせらぎ掲示板	6 P
新任医師のご紹介／おいしいレ・シ・ピ	7 P 他

私たち5名は、巨大地震や大事故などの「いざ」というときに、現場で医療救護活動ができるよう特別な訓練を受けた「DMAT (ディーマット)」という医療チームです。
よろしくお願いします!

四万十市立市民病院広報誌

すべては命を繋ぐために

市民病院「災害医療」の取組み 災害医療チームDMAT



避けられる「災害死」があるということ・・・

DMATは、Disaster Medical Assistance Team（災害派遣医療チーム）の頭文字をとったもので、略して「ディーマット」と呼ばれています。DMATとは、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されています。医師や看護師の他、救急救命士や薬剤師、事務員など4名を基本として構成されており、大規模災害や多数の傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）に活動できる機動性をもった専門的な医療チームです。

実はDMAT発足の契機は平成7年に発生した「阪神・淡路大震災」でした。この震災では、死者・行方不明者が6,000人以上でしたが、そのうち500人くらいの人は「防ぎ得る災害死」といわれており、負傷した初期の時点で正しい治療ができていれば命を落とさずに済んだのではないかと後に報告されています。

この教訓をもとに、各行政機関、消防、警察、自衛隊と連携しながら救助活動と並行し、医師が災害現場で医療を行う必要性が認識されるようになり、厚生労働省により、平成17年「日本DMAT」が発足しま

した。平成26年3月末現在では721施設、1,323チーム、約8,300名の隊員が「日本DMAT」に登録されています。

DMATの活動は、被災地内で自衛隊や消防レスキュー隊などと連携し、トリアージ(④1)・緊急治療・安定化処置を行うなどの現場活動や、多くの負傷者が運ばれてくる被災病院において混乱防止や機能維持を図るなどの医療支援を行います。

また、南海トラフ地震などにみられる大規模集団災害で多数の傷病者が発生した際は、緊急治療が必要な傷病者を被災地外の病院に搬送し根本治療を行うために「広域医療搬送」することで、被災地内の医療負担の軽減を図ります。

DMATにとって災害発生直後は、救命がもっとも重要な役割であり、冷静な状況把握と瞬時の判断、さらにはどのような厳しい状況下でも積極的に支援活動する強い心が求められます。

このようにDMATは、機動性・専門性を生かした多岐にわたる医療的支援を行うために訓練された特殊医療チームなのです。



本番さながらの様々な訓練を重ねていきます。



トリアージを行う際は、このような「トリアージタグ」を用いて、赤色(緊急治療群)・黄色(非緊急治療群)・緑色(軽処置群)・黒色(死亡)に色分けし患者さんの体に取り付けられます。

④ 1：トリアージとは、傷病者の重症度と緊急性を判定し、治療や搬送の優先度を判断することです。災害時には限られた医療資源（医療従事者、医薬品等）の中でいかに多くの命を救うかが求められますので、トリアージで判定した優先順位に従い医療行為を行います。

わがまちにDMATを・・・

市民病院は、四万十市の災害医療救護計画において災害時の「救護病院」に指定されており、平成24年に院内初のDMATを組織しました。

四万十市の中心にある本院が、救護病院としての機能を果たすために、DMATのような災害医療の専門チームを立ち上げたことはとても意義深いことであると考えます。

当院DMATは結成以降、災害医療をテーマにした研修会や南海トラフ巨大地震を想定した実務訓練などに多く参加し、県や関係機関と互いに連携がうまく行くよう定期的に訓練にも参加しています。また、院内においても、その他の医師や看護師も救急医療の講習会、資格試験などに積極的に参加し災害対応能力向上を図っています。

このようにDMAT結成は、院内はもとより、四万十市における災害医療への意識や技術力向上に大きな影響をもたらすことが期待できます。

四万十から「日本DMAT」へ!

これまで高知県内に日本DMAT登録のチームは31ありましたが、幡多地域では、幡多けんみん病院(3チーム)と渭南病院(1チーム)のみでした。

このたび、当院のDMAT5名が、東京都立川市で行われた「日本DMAT隊員養成研修」に参加しました。3日間の大変厳しい訓練を見事クリアし、四万十市初の日本DMAT登録チームが誕生しました。

今後は、災害に対して十分な備えとしっかりとした対策を講じることが課題であり、四万十市における災害医療の向上を担っていく責務があると考えます。災害は起こらないことが一番ですが、近い将来、南海トラフ巨大地震の発生が予想されています。当院のDMAT隊は今回「日本DMAT」に登録されましたが、災害発生に備え「専門集団」としての準備と訓練を継続し、また当院の災害医療機能のさらなる強化に努めていきます。

「四万十DMAT」のメンバーに質問してみました!!

「日本DMAT」の研修で 大変だったことや 思い出はありますか?



尾崎徳美 隊員
(看護師)

新谷尚子 隊員
(看護師)

念願の「日本DMAT隊員養成研修」を受けることができました。

研修期間中は早朝から夜中まで「寝る間も惜しんで」訓練・実習・学習に取り組みました。(〇〇年ぶりに学生の頃以上に猛勉強しました!)

また、「人の命を救う」という医療活動に対する責任の重大さを改めて痛感しました。

今回、東京都や愛知県・群馬県など全国のDMAT隊員との交流を図ることができたので、このつながりを大切に今後も情報交換をしていきたいと考えています。

業務調整員って何をする人ですか?

原 憲一 隊員 (事務)



メンバーは、医師・看護師・業務調整員の3職種で構成されます。

業務調整員の役割は、活動補助・記録、資材等の手配、スケジュール管理、他のDMATや各種関係機関との連絡調整など多岐にわたっており、様々な情報を収集・整理してチームのスムーズな活動につなげます。実際に混乱した現場での情報収集は想像以上に大変で、人一倍の気配りや機転の速さが求められるとも言われています。

今回の研修を通じて、災害時に指揮命令系統を統一する重要性と情報管理の大切さを学ぶことができました。この経験を今後の当院の災害対策に活かしていきたいと考えています。

今後の意気込みやメッセージを聞かせてください!!



石井泰則 隊長
(医師)

渡邊三奈 隊員
(看護師)

日常業務にあたりながらDMATの訓練や準備は、実はとても大変なのですが、それ以上に「地域を守りたい!」という強い「スペシャルな5人組」です!

今回の研修で得られたネットワークや、行政、消防、警察、近隣の医療機関や関係機関とともに活動ができるよう、これからも日頃の準備と訓練を怠らず、さらなるレベルアップを図っていきます。

実際の災害現場では、皆さんの理解と協力がとても重要です。これからも、災害医療への取り組みや情報を発信し、いざというときの協力体制や、地域の皆さんの防災意識の向上につながるよう努めていきたいと思っています。

お答えします!!

ご意見ありがとうございます

Q & A

院内に設置している「ご意見箱」より寄せられたご意見の一部を紹介・回答します。

Q 午前11時外来受付締め切りは不満です。
急患でなくとも 当然午後も受付して診療すべきです。患者を多く確保して診療報酬を上げるよう経営すれば、市民のための病院になるでしょう(?) 午後は院内は静かすぎますネ。
どうして午後受付をしないのでしょうか? 市内の民間病院のようにしましょう? 赤字克服とか健全経営をいくら言っても良くなりません。次の「せせらぎ」にこの疑問に明解に答えてください。

A 内科外来では午後診療(主に再診・予約)も行っていますが、整形外科・外科・脳神経外科・泌尿器科については外来診療は午前中のみとしています。
午後からは、主に手術や内視鏡などによる各種検査、脳ドックなどの検診、入院患者さんの回診やそのご家族への病状説明、カルテや診断書等の書類作成、各種カンファレンス(患者さんの診断にかかわる会議)、そして救急搬送されてくる患者さんへの対応など様々な業務があります。少ない医師・看護師で、午後からの業務に十分対応できる体制をとるために受付時間を11時までとしています。何卒、今一層のご理解とご協力をお願いします。
なお、急患については午後診療も受付していますので、医師の午後スケジュール(上記理由)との調整のうえとなりますが、ご遠慮なくまずはお電話にてご連絡ください。

Q 父が入院してましてお世話になりました。本当に良くして頂ける看護師さんいれば、言葉遣い等家族の気持ちを考えて頂けず腹立たしい気持ちになった看護師さんもいます。少し考えていただければ幸いです。

A ご指摘ありがとうございます。そして、大変不愉快な思いをさせてしまい心よりお詫び申し上げます。
今年度当院では、講師を招き毎月接遇研修や勉強会、また各部署では「接遇改善」を年度目標として掲げ、これまで以上に真剣に取り組んでいるところであります。その成果が徐々にみられ、最近の退院アンケートやご意見には、看護師をはじめ各スタッフの対応に向上の評価をいただいています。しかし、残念ながらごく一部の職員がつい軽卒な行動をとってしまうなど、接遇の基本的な部分ができていない現状も事実であります。今回のご意見を全職員が真摯に受け止め深く反省し、今一度見直しさらなるレベルアップできるよう、今後も接遇教育を継続してまいります。

Q 再来受診の際予定(予約)表をもらっているのに、入り口の受付機の票を取るのはどうしてか? どこかに解答を出してほしい。

A 予約診察の患者さんが、「再来診療受付機」に市民病院診察券を挿入し受付することで、患者さんの来院が診察室のコンピュータに表示されます。「再来診療受付機」から出てくる「当日受付表」を受診する外来に提出していただくことで、担当医師・予約時間・受付完了を再確認し、患者さんのカルテを担当医師に提出して診察させていただく仕組みになっていますので、何卒ご理解ご協力をお願いします。

Q 体調が悪くて来ているのに、受付をしてから何時間も待たされました。仕方ないとは思いますがなんとかならないのでしょうか。だいたいどのくらい待つようになるのかが分かれば覚悟もできるのですが・・・。
どのようになっている、いったいいつまで待てばいいのか分からず待ち続けるのは体調の悪い者にとってはとても辛いものです。

A 待ち時間に関するご意見・ご要望は、これまでもいくつかいただいております。スタッフ一同その短縮に向け努力していますが、患者さんの病気の状態によって診察時間が長引くことや救急患者さんの対応などと予測できない事態、また入院患者さんの急変により外来診療が中断してしまうなどと、どうしてもお待たせする場合があります。そのような場合は各科外来担当看護師より時間の遅れについて「声掛け」させていただいております。お待ちいただいている間に何かございましたら、最寄りのスタッフまでご遠慮なくお伝えください。これからも、スムーズに診療ができるよう努力し、頂きましたご意見をもとに改善を図ってまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

経営健全化を目指す 市民病院



市民病院は、近年の医師不足などによる影響から患者数が減少し、厳しい経営が続いています。

市では、この厳しい経営状況を打開するために、有識者等による「四万十市立市民病院経営健全化検討委員会」を設置し、経営改善の取り組みを進めています。8月から毎月検討委員会を開催しており、年度内に新たな経営健全化計画の策定について取りまとめを行う予定としています。

委員からの主な意見(第1回～第4回検討委員会)

市民病院の果たすべき役割について

- 市民病院は民間病院と競合するのではダメだし、急性期というのは1秒でも早く近場で処置できるというのが大事なのでそこを担っていかなければいけない。
- 24時間救急については、現状の医師数で実施すれば医師が潰れてしまう。医師数が増えなければできない。

給食業務の委託について

- 委託により経費が節減できるのなら実施すべきである。
- 委託した場合、現場(管理栄養士・看護師)と委託会社社員の連携であるとか、委託によるデメリットの解消については、委託会社とよく協議すること。
- 外来患者は診察日に栄養指導をすることを基本にしており、患者・家族には好評である。栄養指導については、病院の機能としてきちんと食事指導をしてくれるというのが目玉の一つになりうる。

職員の給与について

- 現在の給与体系よりも職務と責任に応ずるものとなるようにすべき。
- 若年層の給与が低いため若い看護師が応募してくれないのではないかと。現在よりも初任給が高い医療職の給料表に切り替えるべきではないか。
- 看護師の採用については、教育を考えていかないと新卒者は来ない。認定看護師の資格の取れる研修に行かすようにしたらどうか。

病院の経営形態について

- 経営形態よりも人件費とか無駄の見直しの方が経営上は効果があるのではないかと。
- 給食の委託、給与の見直しなど具体的にできることをやったときに、どういう改善があったというのがある。そのデータが出るので、これを見越したうえで、次期経営健全化計画策定時(平成29年度)の検討委員会で協議したらどうか。
- 地方公営企業法の一部適用の場合、市長が開設者となるため交代し方針が変われば病院も影響を受ける。その点、地方公営企業法の全部適用の場合は事業管理者を置くので、方針が変わることはない。
- 市民病院は地域の基幹病院として地域医療をやっていくということは変わらないので、一部適用でいくか全部適用でいくかを考えた時、市の意向が強くなるのは一部適用だが、全部適用にしても市の意向を踏まえて動くので、これについては違いがないのではないかと。



せせらぎ掲示板



たくさんのご来場ありがとうございました!!

澄みきった青空がひろがる秋晴れ、「いちじょこさん」真っ只中の11月23日。

「市民病院健康フェア」を開催しました。

この催しは、予防医療の啓発を通じて市民の皆さんとふれあうことを目的にしており、今年で4回目となります。院内各科のボランティアスタッフがいろいろなアイデアや趣向を凝らして、市民の皆さんの健康増進に役立つ各種コーナーを用意しました。

当日は、多くの方々にご来場いただき、皆さんの健康に対する意識を知ることができました。

これからも、地域の健康をサポートできる市民病院をめざして、スタッフ一同一生懸命取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いします。



食で元気と健康を!

四万十市食生活改善推進協議会より「減塩みそ汁」を皆さんに振舞っていただきました。



これぞ健康美!!「オル・オル・ナカムラ」の皆さんによる華麗なフラダンスショーに、会場中ウツトリ。



気になる血圧・血糖値。

測定・相談コーナーもにぎわっていました!

市民病院に一足早い「クリスマス」が訪れました!!

12月14日、中村交響楽団の皆さんによるクリスマスコンサートを開催しました。

たくさんの曲目を演奏していただき、クリスマスソングだけではなく、「青い山脈」などのおなじみの歌謡曲や、「四季のうた」などの童謡に、入院患者さんも懐かしそうに口ずさんでいました。

今年話題になったディズニー映画「アナと雪の女王」テーマ曲なども演奏され、一足早いクリスマスを楽しむことができました。中村交響楽団の皆様、本当にありがとうございました。

—院内クリスマスコンサート開催—



— 新任の医師をご紹介します —

平成27年1月より濱川医師を迎え、内科はこれで4名体制となりました。これからも患者さんが安心できる、良質な医療を提供することを使命とし努力を重ねてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

経 歴

昭和53年 4月 高知市生まれ
 平成15年 3月 高知医科大学卒業
 平成15年 5月 高知医科大学附属病院老年病科勤務
 平成16年 5月 幡多けんみん病院循環器科勤務
 平成16年11月 茅ヶ崎徳洲会総合病院内科勤務
 平成17年 5月 高知大学附属病院老年病科勤務
 平成21年 7月 高知大学家庭医療学講座助教
 平成21年10月 四万十市国保西土佐診療所副所長

資 格

医学博士
 日本循環器学会専門医、日本内科学会認定医
 ACLSプロバイダー、JATECプロバイダー
 高知県もの忘れ・認知症相談医(こうちオレンジドクター)

よろしく
 お願いします！



市民病院 内科副部長
 はまがわ
 濱川 公祐 医師

自己紹介

1月から勤務させていただきます濱川です。高知市出身で、高知医科大学を卒業後は主に循環器内科の診療をしておりました。この5年間ほどは西土佐診療所に勤務し総合診療をしておりました。心臓を主に幅広い病気を診療することを心がけております。「患者様を第一に」をモットーに日々勤務してまいりますので、気になることがありましたらお気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

おいしい レシピ

揚げささみの柚子マリネ

今が旬の柚子。高知県の特産物の1つですね。

柚子はビタミンCの含有量が多く、実は、果汁よりも皮のほうに多く含まれています。ビタミンCは、疲労回復や風邪の予防、肌荒れにも効果があり、また抗ストレス作用もあるといわれています。皮も一緒にマリネにした栄養たっぷりで柚子の風味がほんのりとおいしく、この季節におすすめの一品です。

作り方



管理栄養士
 山脇 蓉子

- ①ささみに下味をつける。
- ②調味料を合わせておき、切った野菜(水菜以外)を入れてしんなりとするまで味をしみこませておく。
 赤・黄パプリカ…少し太めのせん切り。
 たまねぎ…薄切り。
 ゆずの皮…せん切り。
 水菜…3cm程度の長さに。
- ③ささみの汁気をきって表面に片栗粉をまぶし、揚げ油で揚げる。
- ④揚げたら、熱いうちに②の調味料の中に入れて味をしみこませる。
- ⑤皿に盛り付け、上に水菜を飾る。



■材料2人分■

ささみ	4本(約200g)
塩・こしょう	少々
酒	小さじ1(5g)
片栗粉	15g
揚げ油	適量
しょうゆ(濃)	大さじ1(18g)
砂糖	大さじ2強(20g)
みりん	大さじ1(18g)
柚子(果汁)	大さじ2/3
赤パプリカ	20g
黄パプリカ	20g
たまねぎ	50g
柚子の皮	5g
水菜	15g

■栄養価■

エネルギー	284kcal		
たんぱく質	24.5g	脂質	7.8g
炭水化物	26.2g	カリウム	599mg
リン	256mg	鉄	0.7mg
ビタミンC	48mg	食物繊維	0.9g
食塩相当量	1.5g		



外来診療医師担当日表

(平成27年1月5日より)

●受付：午前 8 時～11 時まで(☎34-2126)

●診療開始時間：午前 8 時 30 分から

*印は「非常勤医師」です

			月	火	水	木	金
内 科	午前	初診	高橋敏也	濱川公祐	小川貴司	濱川公祐 第1・3・5週	小川貴司
						高橋敏也 第2・4週	
		再診 (予約)	濱川公祐	樋口佑次	樋口佑次	樋口佑次	濱川公祐 * 竹田修司
							高橋敏也 第1・3・5週
	午後	再診 (予約)	小川貴司	* 鷲山憲治	高橋敏也	小川貴司	石井泰則 第2・4週
			濱川公祐	小川貴司 * 鷲山憲治	* 竹田修司	小川貴司	* 竹田修司
				高橋敏也 第1・3・5週		濱川公祐	
外 科	午前	初診・再診 (予約)	宇都宮俊介	石井泰則	宇都宮俊介	石井泰則	宇都宮俊介
整 形 外 科	午前	初診・再診 (予約)	河内通	坪屋英志	河内通	坪屋英志	河内通
脳神経 外 科	午前	初診・再診 (予約)	伴昌幸	川田祥子	伴昌幸	川田祥子	伴昌幸
泌 尿 器 科	午前	初診・再診 (予約)	中尾昌宏	(手術・検査)	中尾昌宏	(手術・検査)	中尾昌宏

注)国立高知病院医師4人(篠原勉、畠山暢生、岡野義夫、町田久典)が、交替で診察します。

感染しないために、ひろげないために
ご協力をお願いします！

季節型インフルエンザ流行期の
ご面会について



インフルエンザの流行時期といわれる 1 1 月頃～4 月頃
までは注意が必要です。

院内におけるインフルエンザ感染拡大を防ぐため、**ご面会
時のマスク着用**をお願いしています。併せて、入室前の**手指の
アルコール消毒**も行っていただきますようお願いします。

マスクをされていない場合には、ご面会をお断りさせていた
だくこともありますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い
します。

四万十市立市民病院理念

【基本理念】 私たちは良質な医療を提供し、患者
さんに信頼される病院を目指します。

【基本方針】 (患者の権利の尊重)
患者さんの人権と生命の尊厳を
尊重した医療を行います。

(職員の自覚・自己啓発)

全ての職員は医療技術の研鑽に努め、
親切で優しい対応を心がけます。

(地域連携)

地域の医療機関等との連携を推進し、
開かれた病院づくりに努めます。

(経営健全化)

経営の健全化を図り、安定した病院
運営に努めます。

ホームページもぜひご覧ください！

四万十市立市民病院

検索

あとがき ～編集後記～

今回4ページに当院に寄せられた「ご意見」の一部をご紹介します。

市民病院に対するご意見に身の引き締まる思いと、頑張って取り組んで
きたことへの少しの自信を感じているせせらぎ冬号です。(茶畑)

発行元

四万十市立市民病院広報委員会

〒787-0023

四万十市中村東町1丁目1番27号

TEL(0880)34-2126・FAX(0880)34-1861